

オープンカレッジ

会場 **イクネスしばた 多目的室 1 (新発田市諏訪町 1-2-12)**

参加費
無料

※新型コロナウイルス感染予防のため、各回定員を40名とさせていただきます。
※当日はマスクを着用していただき、発熱・咳等の症状が見られる場合には、参加をご遠慮ください。
※受付の際、アルコール消毒のご協力をお願いします。

第1回

10月18日(月) 17:30~19:00

哲学者は笑いについて どう考えてきたか

私たちの日常において、笑うことは重要な位置を占めています。例えば、お笑い番組を見て笑うことは、仕事に疲れたときなどの気分転換に有効でしょう。また、楽しい話題を共有することは、コミュニケーションを円滑にすることに役立ちます。しかしその一方で、笑いには、相手を見下し、嘲るような意図が込められることもあります。

このように笑いとは、さまざまな可能性を有した複雑な現象であると言えます。事実、これまで多くの哲学者が、笑いとは何かについて考察してきました。そこには、私たちが生きる上でヒントとなるような洞察も含まれています。この講義では、そうした哲学者の見解を紹介することで、笑いの可能性について検討してみたいと思います。



講師

井西 弘樹
(国際文化学科 専任講師)

第2回

10月25日(月) 17:30~19:00

人間のケア・地域のケア ・地球のケア ~2030未来への大分岐・ 私たちにできること~

2030年までに二酸化炭素の排出量を大きく減らさないと(2013年比50%削減)温暖化が急速に進み、地球の危機がいつそう進行すると言われていています。一方では、コロナ禍の中で貧困・社会的排除や地域社会の疲弊(耕作放棄地、森林の荒廃等)はその深刻さを増しています。

こうした中で、私たち一人ひとりができることは何かについて、「人間のケア、地域のケア、地球のケア」という3つの視点から考えてみたいと思います。



講師

石坂 誠
(共生社会学科 准教授)



2021年度 敬和学園大学オープンカレッジ 申込書

※講座開始10分前までに会場においでください。

講座名 ※受講したい講座に○印を記入してください。	10/18 (月) 哲学者は笑いについてどう考えてきたか			
	10/25 (月) 人間のケア・地域のケア・地球のケア～2030未来への大分岐・私たちにできること～			
ふりがな			性別	男 ・ 女
氏名			学籍番号	本学学生・科目等履修生のみ記入
住所	〒 ー			
電話	() ー	大学の広報誌や講座案内を送付してよろしいですか	はい・いいえ	
メールアドレス	@			

※電話番号、メールアドレスは講座についてのご連絡の際に使用しますので、連絡のとりやすいものをご記入ください。

<個人情報の取り扱いについて>

登録いただいた個人情報は、本学の各種講座の申込み手続きおよび、各種ご案内や広報誌の送付等の関連業務のみに使用し、それ以外の用途に使用することはありません。また、個人情報を第三者に公開・提供することは一切ありません。登録いただいた個人情報の照会、訂正、削除については、本学総務課までお知らせください。

個人情報に関する窓口： 新潟県新発田市富塚1270(〒957-8585)
敬和学園大学 総務課 TEL 0254-26-2394 FAX 0254-26-3646
www.keiwa-c.ac.jp somu@keiwa-c.ac.jp

敬和学園大学記入欄 この欄は記入しないでください	登録日	受付
-----------------------------	-----	----

申し込み用紙がたりない場合は、コピーしてご使用ください。

2021「オープンカレッジ新発田市会場」チラシ

■会場のご案内

会場

イクネスしばた 多目的室1

新潟県新発田市諏訪町1丁目2番12号(〒957-0055)

TEL 0254-28-9950

※車でお越しの方は、駐車場(60台)をご利用ください。(無料)

会場までのアクセス

電車を利用する場合

- JR「新発田駅」下車、徒歩約1分

路線バスを利用する場合

- 市街地循環バス「新発田駅」バス停下車、徒歩1分

自動車を利用する場合

- 新新バイパス(国道7号線)「新発田IC」から15分
- 高速道路(日東道)の場合は「聖籠新発田IC」降りて新発田方面へ

